

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・前期・A群	
	対象学科・専攻	都市環境デザイン工学科	
都市環境デザイン工学概論 (Introduction of Urban Environmental Design and Engineering)	担当教員	岡松道雄 (Okamatsu, Michio) 前野祐二 (Maeno, Yuji) 山内正仁 (Yamauchi, Masahito) 池田正利 (Ikeda, Masatoshi) 内田 一平 (Uchida, Ippei)	
	教員室	都市環境デザイン工学科棟3階 (Tel. 42-9122)	
	E-Mail	okamatsu@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 15回		
[本科目の目標] 都市環境デザインは、建設、環境、デザインと都市生活環境などすべてを対象とする。特に建設物の成り立ちと環境保全、生活維持に必要なライフラインの役割などを理解する。目に見える建設物の単なる建設でなく、建設物の中での生活維持に必要な空調施設、上下水道施設も含めた建設物と人間生活環境を考慮したデザインと一緒に学習する。			
[本科目の位置付け] 都市環境デザインを学ぶための入門科目である。都市環境デザインに興味を持たせるために、できるだけ分かり易く、身近な話題を取り入れながら学習する。また、ビジュアルな手法を駆使して、建設物の概要、技術、事業等の基本的事項をコンパクトにまとめ、理解を手助けする。後で学ぶ専門科目への橋渡しの役割を担う。			
[学習上の留意点] 環境とは何か、建設物とは何か、デザインとは何か、常に疑問と興味を持って人間の生活空間を理解し、あるべき姿を考える姿勢を、持って授業に取り組む。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1.都市環境総論	2	建設物が理解できる (前野)	教科書p1～p80について、概略を把握しておく
2.建設物の建設方法	2	建設物 (橋、道路など) の構造が理解できる (前野)	
	2	建設物建設工事の計画、設計、施工が理解できる (前野)	
4.都市設備 (住居、道路、橋、公園、上下水道)	4	衣食住に必要な都市設備の概要を理解できる (山内)	事前に配布されるプリントや補助教材で概要を把握する。
5.建設材料	4	土木建築材料、特にコンクリートの材料について概要が理解できる。またコンクリート構造物の概要が理解できる。(池田)	教科書p110, p111, p34, p35について概略を把握しておく。
---前期中間試験---		中間試験は行わない	
6.都市計画	6	都市の発生と発達が理解できる (内田) 都市を形づくるものが理解できる (内田) 将来の都市についてイメージできる (内田)	事前に配布されるプリントや補助教材で概要を把握する。
7.建築の発生・歴史	2	建築の発生と発達の歴史、建築と土木の違い・共通点を理解できる (岡松)	事前に配布されるプリントや補助教材で概要を把握する。
8.建築関係の資格・業務・法規	2	建築に関する資格と業務・役割、法規の趣旨と概略を理解できる (岡松)	(同上)
9.建築構法・施工	2	建築の構造体ごとの作り方と力学的性質が理解できる (岡松)	教科書p82～p95, p146～p175について、概略を把握しておく。
10.建築計画・設計	2	建築における計画・設計の役割を理解できる (岡松)	事前に配布するプリントや補助教材で概要を把握する。
11.建築環境	2	光・音・空気・熱・水など建築に係わる環境工学の概要が理解できる (岡松)	(同上)
---前期末試験---		期末試験は行わない	

